



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月3日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
コード番号 6809 URL <https://www.toa-global.com/ja>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 方啓
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	35,870	4.3	1,807	△9.2	2,248	△7.8	1,289	△17.2
2024年3月期第3四半期	34,389	9.0	1,990	225.1	2,438	181.2	1,558	77.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 2,521百万円 (△32.3%) 2024年3月期第3四半期 3,723百万円 (17.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	42.91	—
2024年3月期第3四半期	48.43	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	65,969	50,368	72.2
2024年3月期	64,734	49,239	72.0

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 47,598百万円 2024年3月期 46,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2025年3月期	—	20.00	—		
2025年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期配当金の内訳 安定配当40円

2025年3月期配当金(予想)につぎましては、2024年5月2日に「2024年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当40円に業績を加味して、連結配当性向45%を目安に決定いたします。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	6.5	3,700	22.2	3,900	5.1	2,400	20.1	79.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2025年3月期3Q	34,136,635株	2024年3月期	34,136,635株
2025年3月期3Q	4,066,592株	2024年3月期	4,080,281株
2025年3月期3Q	30,064,008株	2024年3月期3Q	32,174,661株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、予想数値と異なる場合があります。
- ・決算補足説明資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、インバウンド需要の増加や設備投資意欲の高まり、雇用・所得環境の改善など国内景気は回復傾向が見られるものの、原材料価格の高止まりや物価の上昇、不安定な国際情勢による地政学的リスクに加え、為替相場の急速な変動など、世界経済は先行きが不透明な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループでは企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」の実現に向け、2030年を見据えた経営ビジョンとして、「Dr.Sound ——社会の音を良くするプロフェッショナル集団——になる」を掲げております。お客さまに選ばれる良い音体験の継続的提供を通じ、社会課題の特定、解決、改善の一連のサイクルをお客さまと共に実現してゆく頼れるパートナーとして、人々の安心・信頼・感動の価値実現を目指しております。

当第3四半期連結累計期間では、2024年9月に当社グループにおいてオランダ国のPA-Vox Holding B.V.（以下、「PAX社」といいます。）の発行済株式の全てを取得し、PAX社傘下の事業会社3社を含む4社を連結子会社といたしました。各事業会社は空港施設と航空会社向けに36言語に対応した多言語自動アナウンスコンテンツを提供する高度なソリューションを保有する企業です。空港市場において聞き取りやすい音源生成技術を持つほか、高品質ソフトウェアの開発能力、空港市場でサブスクリプションビジネスを展開するなど他社にない強みを保有しています。PAX社を当社グループに加えることにより、当社が得意とする空港市場向け高品質ハードウェアとの相乗効果を発揮し、欧州・中東・アフリカ地域事業の拡大、ひいては全世界で空港市場向けシステムを提供する当社グループ全体の事業拡大を図ることが見込まれます。2024年12月には原材料費や人件費、物流費などの継続的なコスト上昇の対策として、国内の一部商品の価格改定を実施いたしました。これらの取組みをもとに収益基盤を強化し、新成長分野の探索と創造を通じて成長を加速させてまいります。

このような状況の下、当第3四半期連結累計期間における売上高は35,870百万円（前年同四半期比+1,481百万円、4.3%増）となりました。利益については、売上高の増加はありましたが、営業費用の増加により、営業利益は1,807百万円（前年同四半期比△183百万円、9.2%減）、経常利益は2,248百万円（前年同四半期比△190百万円、7.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,289百万円（前年同四半期比△268百万円、17.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

売上高は20,520百万円（前年同四半期比+1,217百万円、6.3%増）、セグメント利益（営業利益）は4,101百万円（前年同四半期比+191百万円、4.9%増）となりました。

道路や鉄道施設などの交通市場や教育市場、工場向けの売上が伸長したことなどにより、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(アジア・パシフィック)

売上高は7,310百万円（前年同四半期比+472百万円、6.9%増）、セグメント利益（営業利益）は1,369百万円（前年同四半期比+49百万円、3.8%増）となりました。

ベトナムでは大型都市開発プロジェクトや商業施設への納入が進み、シンガポールでは市況の改善もあり売上高は増加しました。インドネシアではスポーツ施設、タイでは教育市場や宗教施設、鉄道施設への納入が進みました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(欧州・中東・アフリカ)

売上高は4,598百万円（前年同四半期比△159百万円、3.3%減）、セグメント利益（営業利益）は537百万円（前年同四半期比△135百万円、20.1%減）となりました。

イギリスでは鉄道施設向け、中東では官公庁や教育市場向け、アフリカではオフィスビルへの納入が進みましたが、ドイツなど欧州での市況の停滞もあり、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

(アメリカ)

売上高は2,066百万円(前年同四半期比+74百万円、3.7%増)、セグメント利益(営業利益)は181百万円(前年同四半期比+37百万円、26.3%増)となりました。

アメリカでは小売店向け、カナダでは病院向けの納入が進みました。為替の影響もあり、セグメント全体の売上高は増加し、セグメント利益は増加しました。

(中国・東アジア)

売上高は1,374百万円(前年同四半期比△123百万円、8.2%減)、セグメント利益(営業利益)は115百万円(前年同四半期比△20百万円、15.2%減)となりました。

香港では官公庁向けの納入が進み売上高は増加しました。台湾では引き続き半導体を中心とした工場向けの納入が進みました。中国の不動産不況による販売の伸び悩みもあり、セグメント全体の売上高は減少し、セグメント利益は減少しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は65,969百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,234百万円の増加となりました。資産の部は、現金及び預金の減少などありましたが、棚卸資産やのれん、投資有価証券の増加などにより増加しました。負債及び純資産の部は、仕入債務やその他有価証券評価差額金の増加などにより増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の業績予想につきましては、「2024年3月期決算短信」にて公表しております当初予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,350	15,445
受取手形、売掛金及び契約資産	10,476	10,077
商品及び製品	8,937	9,539
仕掛品	789	923
原材料及び貯蔵品	5,126	5,089
その他	1,048	1,591
貸倒引当金	△95	△100
流動資産合計	42,633	42,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,933	5,711
その他	4,714	4,646
有形固定資産合計	10,648	10,357
無形固定資産		
のれん	419	847
その他	1,249	1,521
無形固定資産合計	1,669	2,369
投資その他の資産		
投資有価証券	8,170	9,063
その他	1,614	1,611
貸倒引当金	△0	—
投資その他の資産合計	9,784	10,675
固定資産合計	22,101	23,402
資産合計	64,734	65,969
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,554	3,854
短期借入金	1,836	1,957
未払法人税等	579	163
引当金	271	378
その他	3,336	3,058
流動負債合計	9,578	9,411
固定負債		
退職給付に係る負債	3,089	3,212
その他	2,827	2,977
固定負債合計	5,917	6,189
負債合計	15,495	15,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	5,048	5,051
利益剰余金	32,863	32,951
自己株式	△3,679	△3,666
株主資本合計	39,512	39,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,807	5,427
為替換算調整勘定	2,321	2,606
退職給付に係る調整累計額	△58	△50
その他の包括利益累計額合計	7,070	7,982
非支配株主持分	2,655	2,770
純資産合計	49,239	50,368
負債純資産合計	64,734	65,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	34,389	35,870
売上原価	19,656	20,188
売上総利益	14,733	15,682
販売費及び一般管理費	12,742	13,874
営業利益	1,990	1,807
営業外収益		
受取利息	79	112
受取配当金	128	140
為替差益	218	125
持分法による投資利益	5	—
その他	121	137
営業外収益合計	554	516
営業外費用		
支払利息	67	62
持分法による投資損失	—	0
固定資産圧縮損	25	—
その他	12	11
営業外費用合計	106	75
経常利益	2,438	2,248
税金等調整前四半期純利益	2,438	2,248
法人税等	661	693
四半期純利益	1,776	1,555
非支配株主に帰属する四半期純利益	218	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,558	1,289

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,776	1,555
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	619
為替換算調整勘定	1,912	337
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
退職給付に係る調整額	4	8
その他の包括利益合計	1,946	966
四半期包括利益	3,723	2,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,487	2,201
非支配株主に係る四半期包括利益	236	319

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更に関する注記)

〔法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準〕等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,173百万円	1,229百万円
のれんの償却額	32 "	36 "

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	19,303	6,838	4,757	1,992	1,498	34,389	—	34,389
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,512	105	17	15	13	3,663	△3,663	—
計	22,815	6,943	4,774	2,008	1,511	38,053	△3,663	34,389
セグメント利益	3,909	1,319	672	143	135	6,180	△4,189	1,990

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,189百万円には、セグメント間取引消去△48百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,141百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)2
	日本	アジア・パ シフィック	欧州・中東 ・アフリカ	アメリカ	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	20,520	7,310	4,598	2,066	1,374	35,870	—	35,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,254	99	13	14	27	3,409	△3,409	—
計	23,775	7,410	4,612	2,080	1,401	39,279	△3,409	35,870
セグメント利益	4,101	1,369	537	181	115	6,304	△4,496	1,807

(注) 1. セグメント利益の調整額△4,496百万円には、セグメント間取引消去△33百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4,463百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本社部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。